

2014年3月期 決算説明会

2014/5/28

日本ライフライン株式会社

- 決算報告
- 業績見通し

専務取締役管理本部長
政次 浩二

■ 2014年3月期 連結業績ハイライト

1. 売上高は前期比11.1%増加

- 心腔内除細動システムの浸透
- 生体弁、胸部用ステントグラフトの伸長

2. 営業利益は前期比57.4%増加

- 販管費増を大幅に上回る売上総利益の増加

3. 特別損失の計上

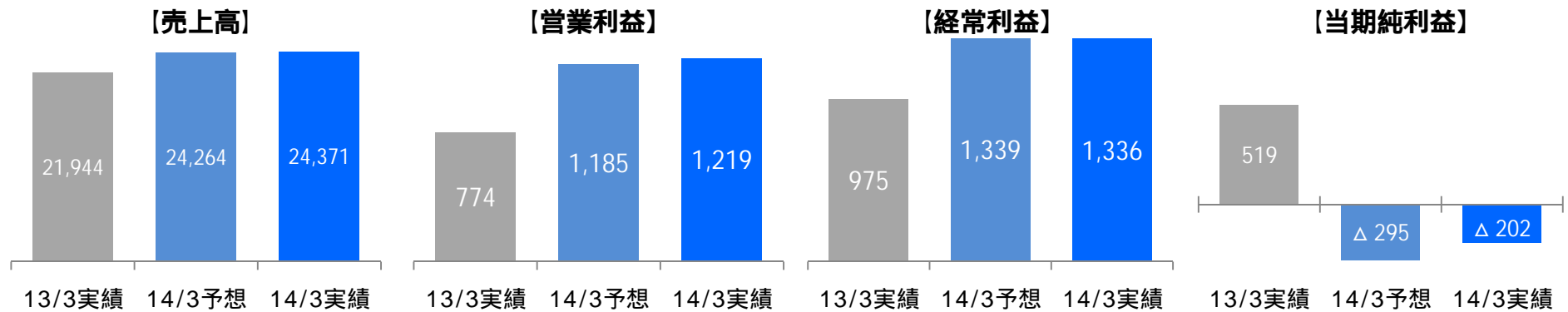
- 取引先株式の評価損・貸付金への貸倒引当金を計上

4. 連結対象子会社の増加

- SYNEXMEDおよびハートブレーンを新規に連結

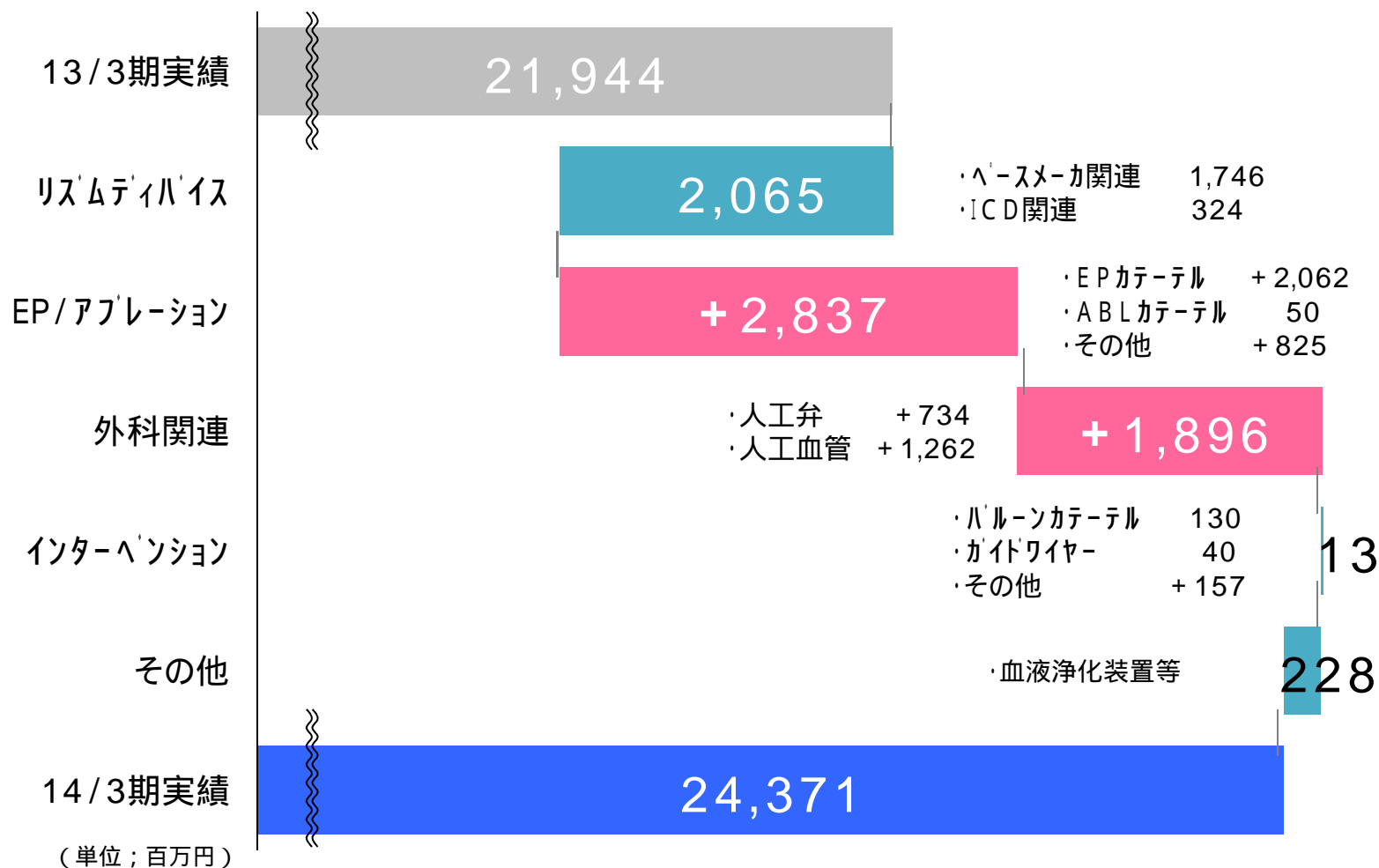
■ 2014年3月期 連結業績

(百万円)	13/3期	14/3期			
	実績	予想 (4/9発表)	実績	前期比	予想比
売上高	21,944	24,264	24,371	11.1%	0.4%
営業利益	774	1,185	1,219	57.4%	2.9%
経常利益	975	1,339	1,336	37.0%	△0.2%
当期純利益	519	△295	△202	-	-



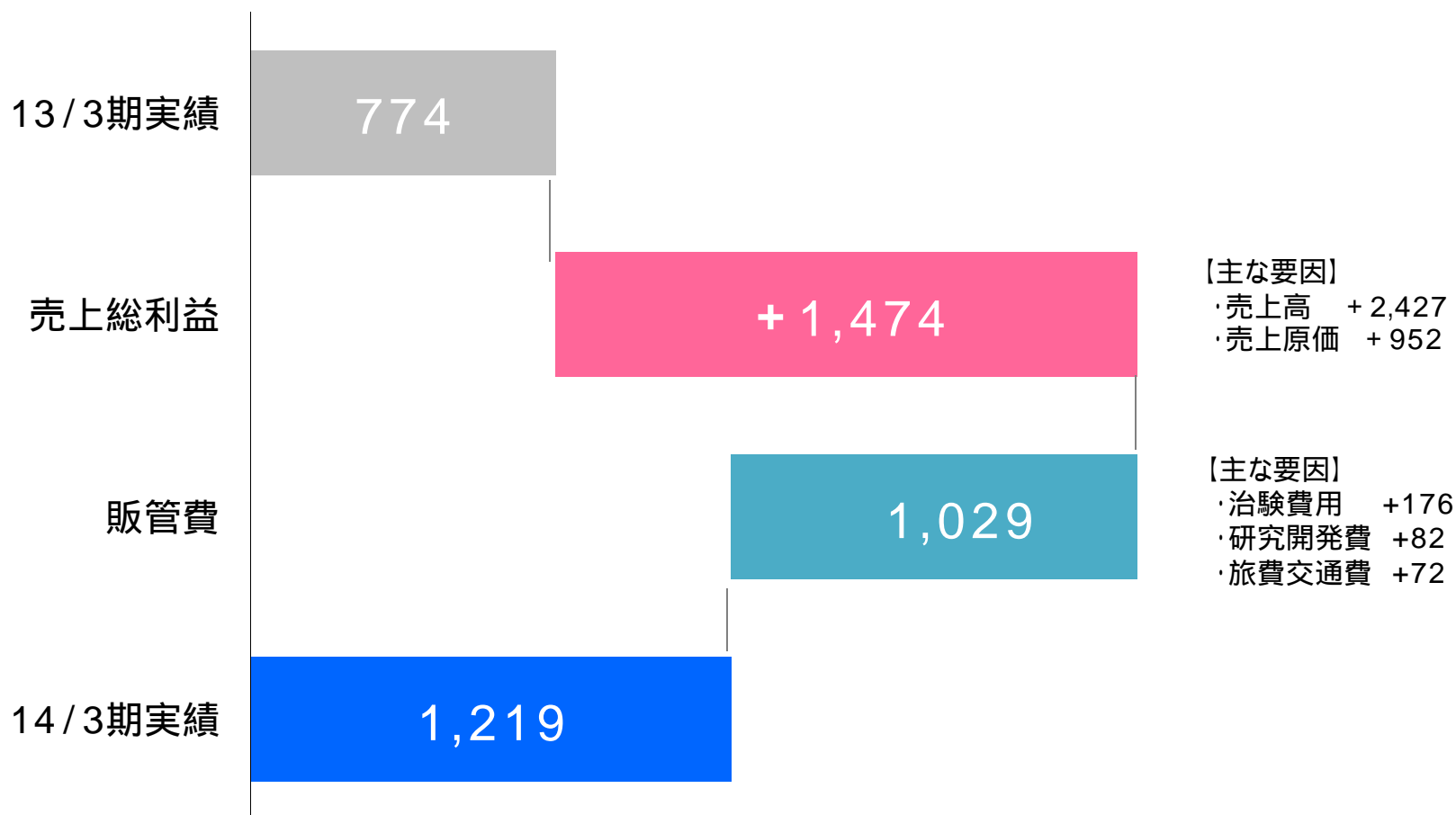
■ 連結売上高 前期比較

対前期 + 2,427百万円(11.1%増)



■ 連結営業利益 前期比較

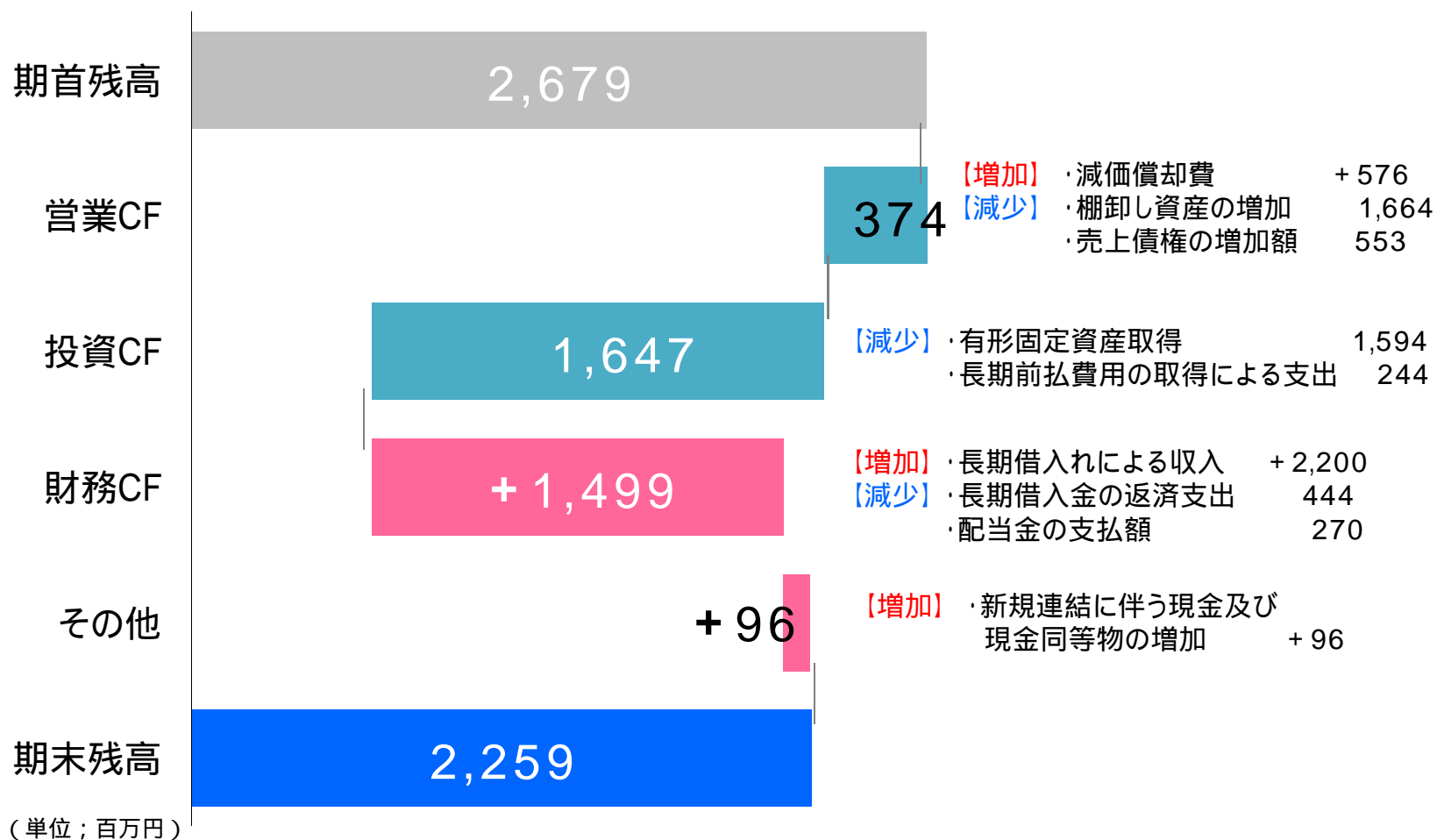
対前期 + 444百万円(57.4%増)



(単位；百万円)

■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物 420百万円



■ 2015年3月期 連結業績予想ハイライト

1. 売上高は前期比 4.8%増加

- 心腔内除細動システム、ステントグラフト等が伸長
- 本年4月の保険償還価格引下げの影響 5.8% (単体ベース)
- リズムデバイスの減少

2. 営業利益は前期比11.7%減少

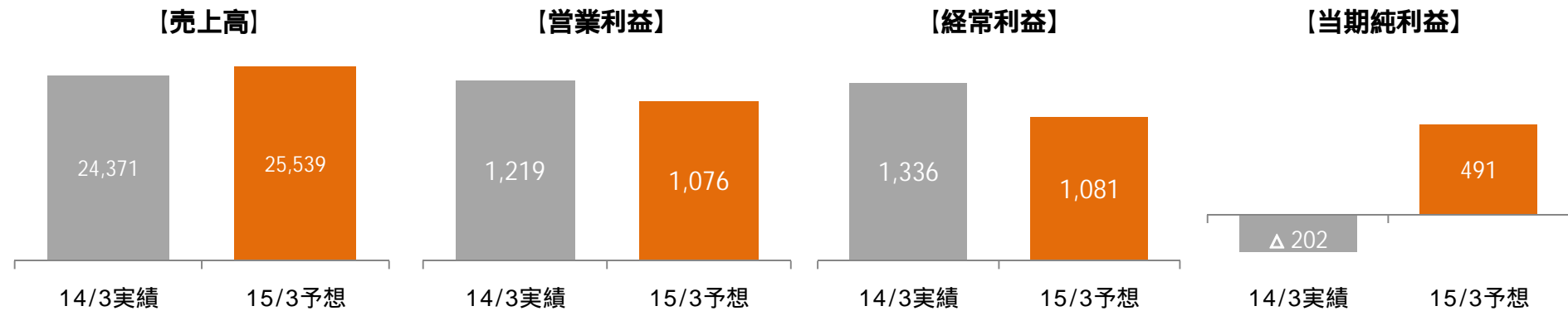
- 新商品導入に係る薬事関連費用の発生を見込む

3. 特別利益を計上

- 小山ファクトリー稼働に伴う助成金

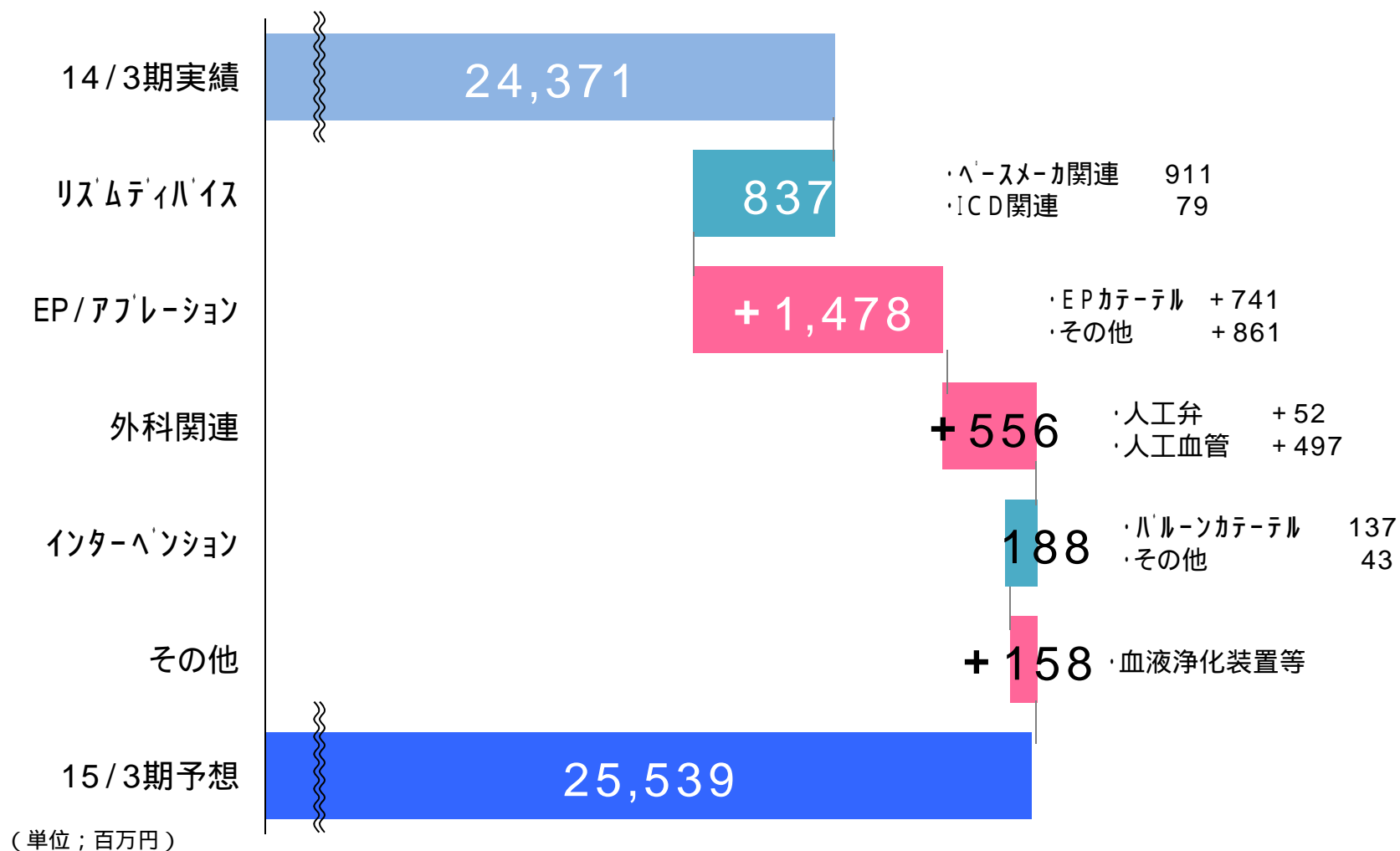
■ 2015年3月期 連結業績予想

(百万円)	14/3期		15/3期		
	実績	構成比	予想	構成比	増減率
売上高	24,371	100.0%	25,539	100.0%	4.8%
営業利益	1,219	5.0%	1,076	4.2%	△11.7%
経常利益	1,336	5.5%	1,081	4.2%	△19.1%
当期純利益	△202	△0.8%	491	1.9%	—



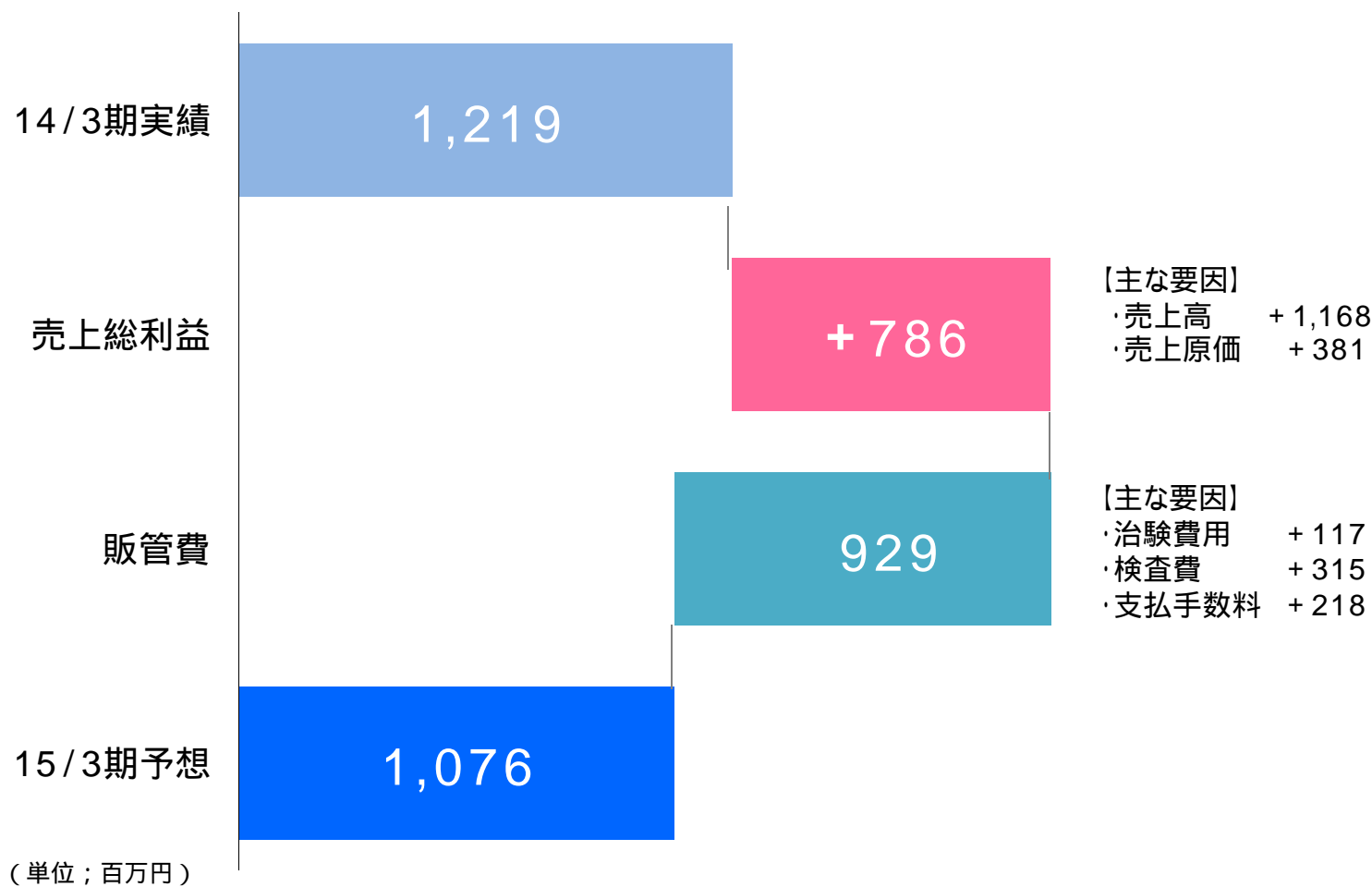
■ 連結売上高予想

前期比 + 1,168百万円(4.8%増)



■ 連結営業利益予想

対前期 142百万円(11.7%減)



■ (資料) 連結売上高 品目別

(百万円)	2013/3期 実績		2014/3期 実績			2015/3期 予想			備考
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	
ペースメーカー関連	7,328	33.4%	5,581	22.9%	23.8%	4,670	18.3%	16.3%	
I C D 関連	1,253	5.7%	928	3.8%	25.9%	1,008	3.9%	8.5%	
その他	93	0.4%	99	0.4%	6.4%	94	0.4%	5.9%	
リズムデバイス計	8,676	39.5%	6,610	27.1%	23.8%	5,772	22.6%	12.7%	
EPカテーテル	4,404	20.1%	6,466	26.5%	46.8%	7,207	28.2%	11.5%	自社製品 心腔内除細動器-汎含む
ABLカテーテル	1,620	7.4%	1,570	6.4%	3.1%	1,446	5.7%	7.9%	自社製品
その他	155	0.7%	981	4.0%	529.8%	1,843	7.2%	87.8%	自社製品含む
EP / ABL 計	6,181	28.2%	9,019	37.0%	45.9%	10,497	41.1%	16.4%	
人工弁関連	881	4.0%	1,615	6.6%	83.4%	1,667	6.5%	3.2%	
人工肺関連	443	2.0%	343	1.4%	22.6%	351	1.4%	2.4%	子会社販売商品含む
人工血管関連	1,408	6.4%	2,670	11.0%	89.6%	3,167	12.4%	18.6%	子会社製品含む スプリント含む
外科関連計	2,733	12.5%	4,630	19.0%	69.4%	5,187	20.3%	12.0%	
バルーン	1,176	5.4%	1,046	4.3%	11.1%	908	3.6%	13.1%	子会社製品含む
ガイドワイヤー	572	2.6%	531	2.2%	7.1%	524	2.1%	1.3%	自社製品
その他	1,082	4.9%	1,239	5.1%	14.5%	1,196	4.7%	3.5%	フィルタップ含む 子会社販売商品含む
インターベンション計	2,831	12.9%	2,818	11.6%	0.5%	2,629	10.3%	6.7%	
その他	1,521	6.9%	1,293	5.3%	15.0%	1,452	5.7%	12.3%	子会社販売商品
合計	21,944	100%	24,371	100%	11.1%	25,539	100%	4.8%	

■ (資料) 連結損益計算書

(百万円)	2013/3期 実績		2014/3期 実績			2015/3期 予想		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	21,944	100.0%	24,371	100.0%	11.1%	25,539	100.0%	4.8%
売上原価	10,681	48.7%	11,634	47.7%	8.9%	12,015	47.0%	3.3%
売上総利益	11,262	51.3%	12,737	52.3%	13.1%	13,523	53.0%	6.2%
販管費	10,487	47.8%	11,517	47.3%	9.8%	12,446	48.7%	8.1%
営業利益	774	3.5%	1,219	5.0%	57.4%	1,076	4.2%	△11.7%
営業外収益	238	1.1%	218	0.9%	8.3%	69	0.3%	68.2%
営業外費用	37	0.2%	101	0.4%	170.5%	64	0.3%	36.5%
経常利益	975	4.4%	1,336	5.5%	37.0%	1,081	4.2%	△19.1%
特別利益	250	1.1%	66	0.3%	△73.6%	158	0.6%	139.6%
特別損失	134	0.6%	706	2.9%	426.8%	0	0.0%	100%
税引前利益	1,091	5.0%	695	2.9%	△36.3%	1,240	4.9%	78.2%
法人税等	571	2.6%	898	3.7%	57.1%	748	2.9%	16.7%
当期純利益	519	2.4%	△202	△0.8%	-	491	1.9%	-

■ (資料) 連結 補足データ

(百万円)		2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期 (予想)
設備投資額		2,089	1,715	1,336	1,901	621
減価償却費		301	383	565	576	701
研究開発費		372	517	554	636	730
期末従業員数 (名)	連結	546	581	595	734	786
	単体	479	509	519	549	596

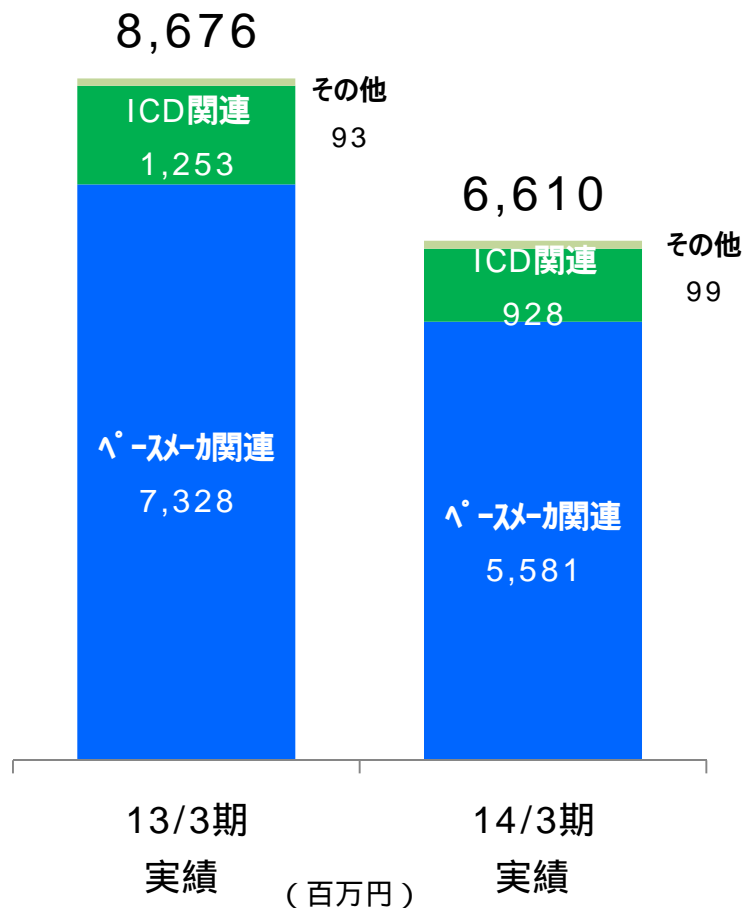
■ 事業の現況と見通し

代表取締役社長
鈴木 啓介

■ リズムデバイス 実績

売上高 前期比

23.8%



● ペースメーカー関連

- MRI(磁気共鳴画像)検査に対応した他社商品の影響により減少
- 交換需要の取り込みを図る

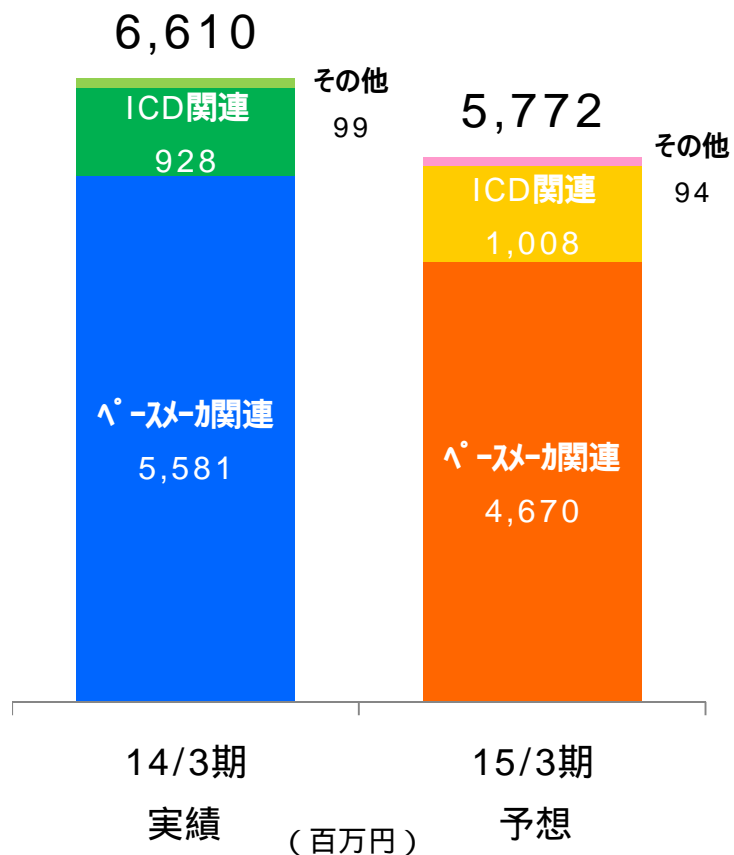
● ICD関連

- 遠隔モニタリングシステム対応商品を導入し拡販に努める

■ リズムデバイス 見通し

売上高 前期比

12.7%



● ペースメーカー関連

- 保険償還価格引き下げ
主力モデル 17.3%
- 新商品「REPLY 200」
- 15/3期2Qの導入を予定
- 胸郭インピーダンスを利用したSAS(睡眠時無呼吸症候群)のスクリーニングが可能



● ICD関連

- 新商品導入を予定

■ リズムデバイス 見通し

- MRI対応ペースメーカーの導入を進める

- 「KORA」
- 15/3期 4Qの上市を目指す
- MRI検査モードに自動で切り替わる独自機能
- 胸郭インピーダンスを利用した
SAS (睡眠時無呼吸症候群) のスクリーニング機能



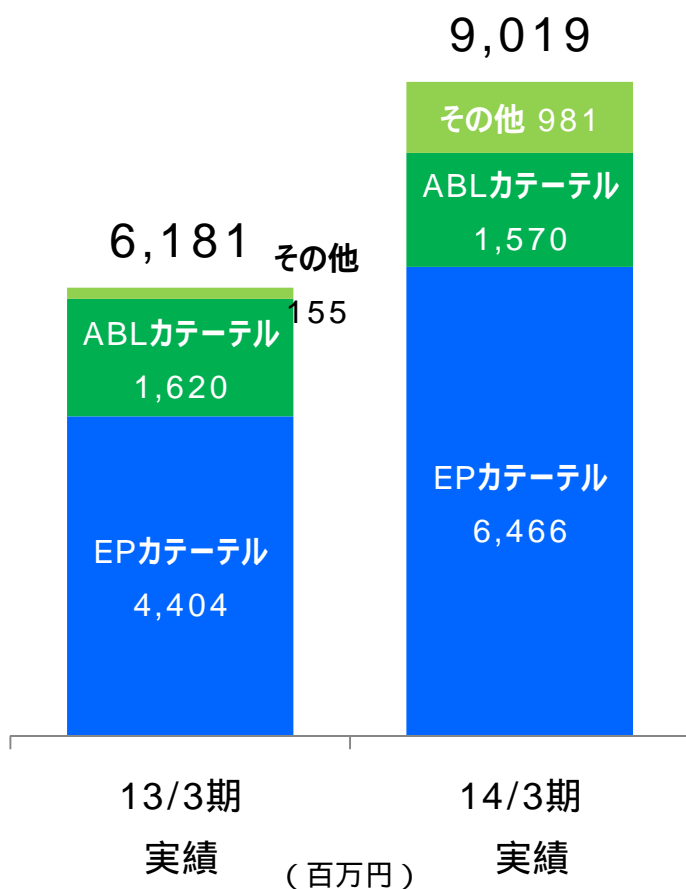
- ICD関連も新商品を予定

- 「INTENSIA」
- 15/3期 4Qの上市を目指す
- リード接続にDF-4コネクタを採用
- 植込み手技の効率化に寄与



■ EP / アブレーション 実績

売上高 前期比
+ 45.9%



- 心腔内除細動システムが浸透

- オンリーワン製品
 専用カテーテル「BeeAT」が寄与
- EP (診断用)カテーテル売上高
 前期比46.8%増加



心腔内除細動システム
 専用カテーテル
 「BeeAT」

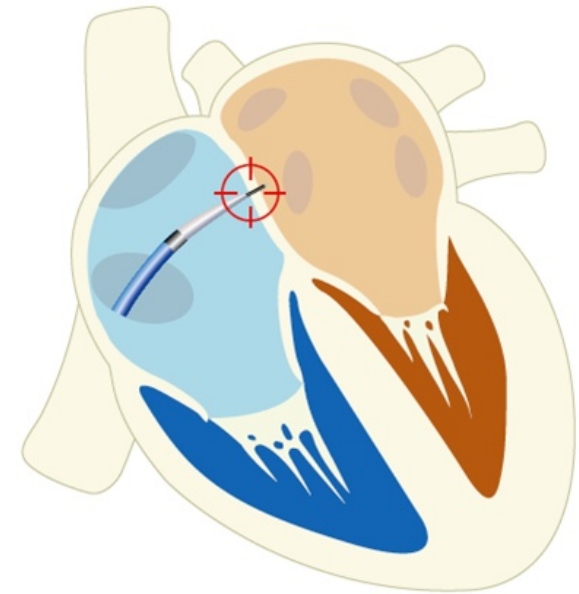
- 心房細動治療関連の新商品が寄与

- 高周波心房中隔穿刺システム

■ EP / アブレーション 実績

● 高周波心房中隔穿刺システム

- 国内唯一の保険適用を受けた穿刺システム
 - 機械針では困難な症例へも対応が可能
 - 誤穿刺を抑制する高い安全性
- 心房細動のアブレーション治療の増加に伴い
今後も安定的な成長を見込む



専用カテーテル「RFニードル」
(先端部)

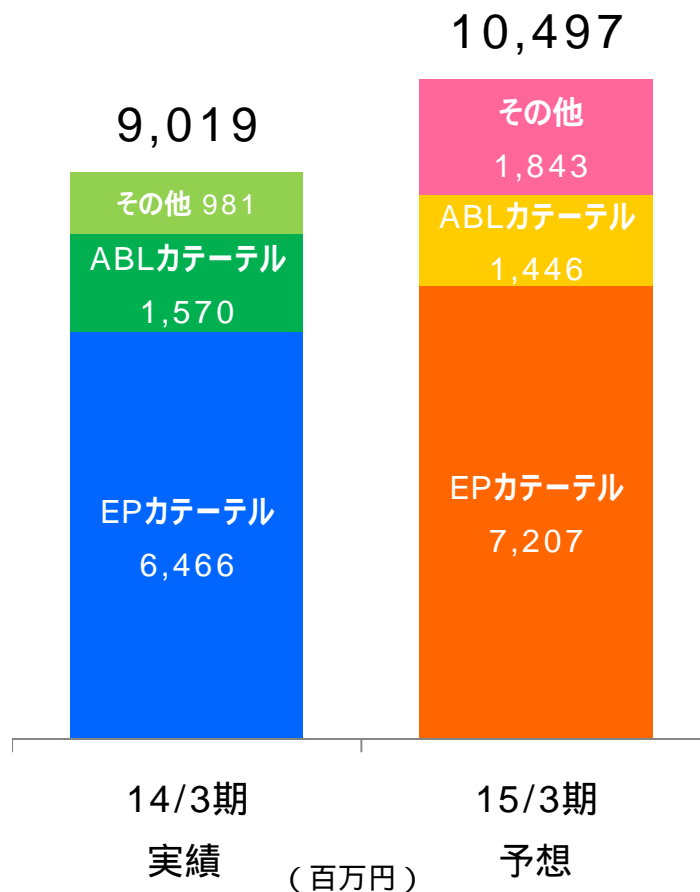


ジェネレータ「RFジェネレータ」

【心房中隔穿刺術】
心房細動のアブレーション治療等の際に左心房へアブレーションカテーテルを通すため、左右の心房の間の壁（心房中隔）に穴を開ける手技を指します。

■ EP / アブレーション 見通し

売上高 前期比
+ 16.4%



- EP診断用カテーテルは続伸

- 「BeeAT」のさらなる成長
- 市場は拡大傾向が続く見通し

- 高周波心房中隔穿刺システムは倍増を見込む

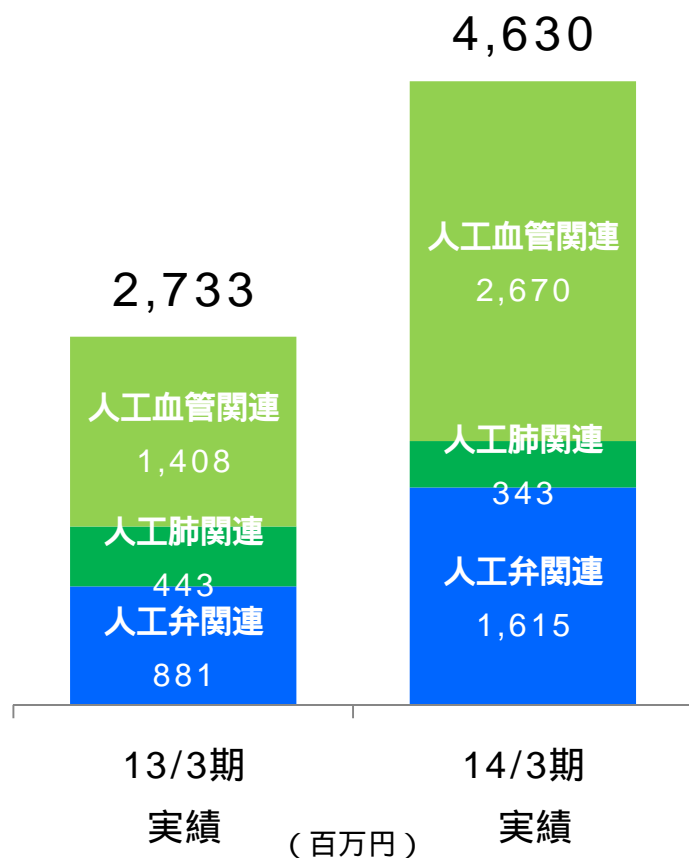
- 主要施設へのジェネレータの設置が進む

- アブレーションは新製品を計画

- イリゲーション機能付き製品
- 16 / 3期初の上市を目指す

■ 外科関連 実績

売上高 前期比
+ 69.4%



● 人工弁関連が伸長

- 生体弁「Mitroflow」が寄与
- 狭小弁輪への植込み易さに評価
- 人工弁関連売上高 前期比83.4%増

● 人工血管関連も新商品が寄与

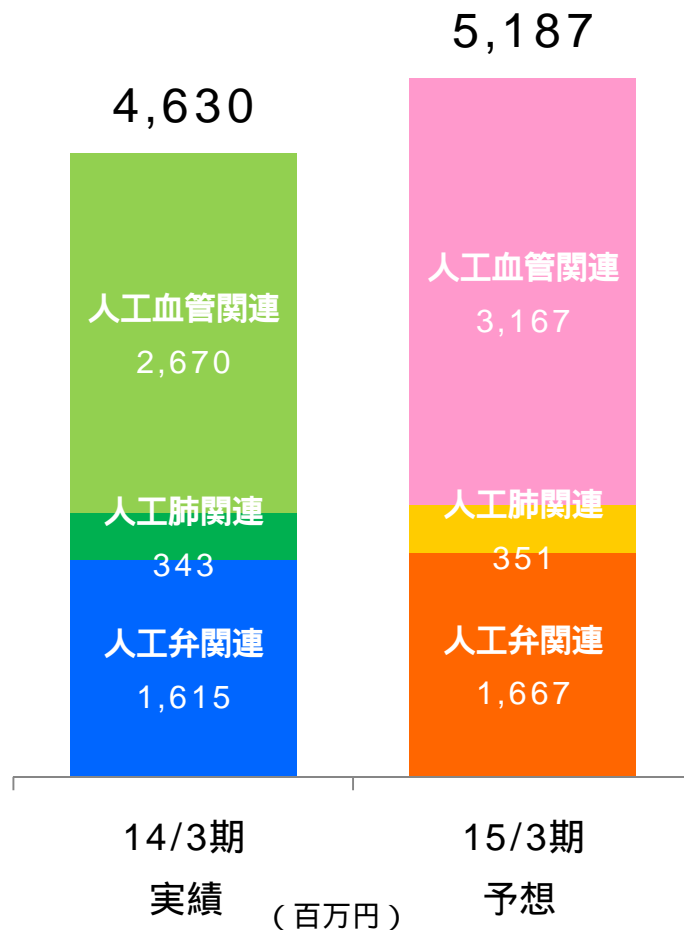
- 胸部用ステントグラフト「RELAY Plus」
- 昨年5月発売
- 人工血管関連売上高 前期比89.6%増



胸部用ステントグラフト「RELAY Plus」

■ 外科関連 見通し

売上高 前期比
+ 12.0%



- 生体弁は安定した成長を見込む
 - 市場の拡大傾向が続く
- 人工血管関連がさらに伸長
 - スtentグラフトが今後も増加
 - 人工血管も好調な販売を見込む
- オープンstentグラフトを導入
 - 「J-Graft オープンstentグラフト」
 - 自社開発のオンリーワン製品

■ 外科関連 見通し

● オープンステントグラフト

- 「J-Graft オープンステントグラフト」
- 国内唯一の開胸手術用ステントグラフト
- 本年1月に薬事承認を取得
- 7月1日の保険適用・販売開始を見込む
- 子会社JUNKEN MEDICAL社製

【オープンステントグラフトの特長】

- 人工血管に比べ低侵襲
 - 末梢側の吻合が不要
 - 開胸範囲を少なく抑えることが可能
- 正確な留置
 - 医師の直視下での正確な留置が可能
 - 最適な形状に調整が可能






「J-Graft オープンステントグラフト」



■ 外科関連 見通し

● 大動脈疾患治療の商品ラインナップが充実

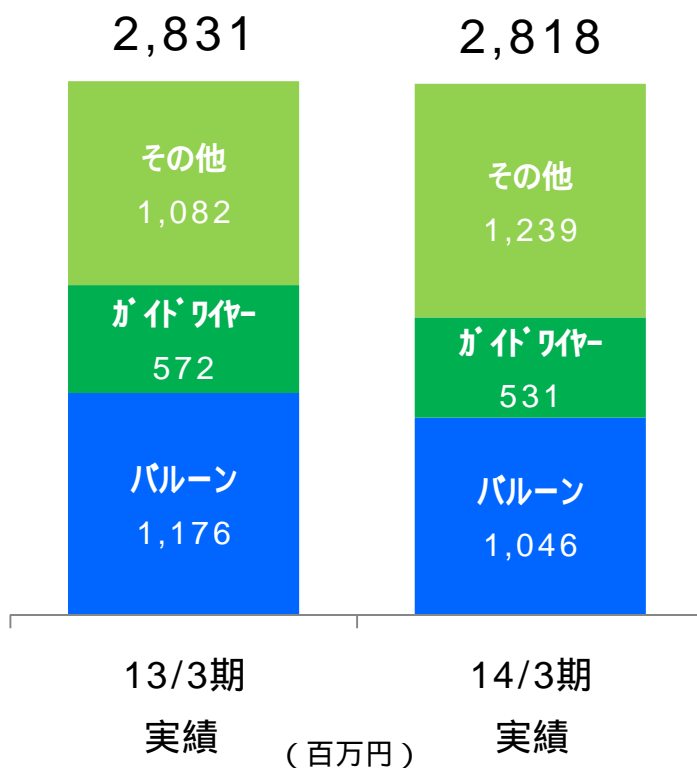
- 医療現場の幅広いニーズに対応
- さらに腹部用ステントグラフトの導入も計画

人工血管	胸部用ステントグラフト	オープンステントグラフト
J-Graft	RELAY Plus	J-Graft オープンステントグラフト
JUNKEN MEDICAL社製	Bolton Medical社製	JUNKEN MEDICAL社製
開胸手術	経皮的治療	開胸手術
		

■ インターベンション 実績

売上高 前期比

0.5%



● バルーンカテーテル

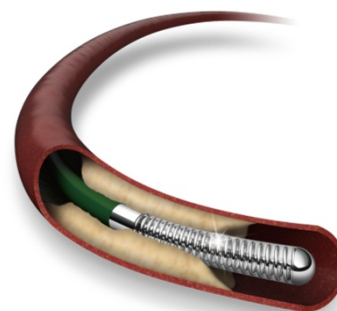
– 既存品の販売数量は減少傾向

● ガイドワイヤー

– 冠動脈用製品は減少

– 末梢用製品は新製品の寄与により販売数量が増加

「Paddler」、「GLAIVE」

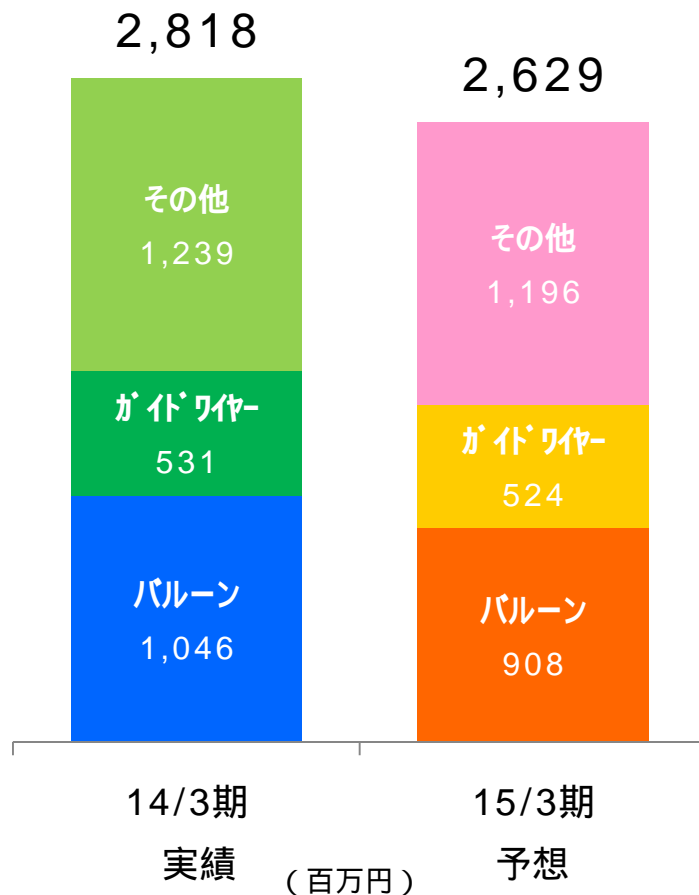


ATHLETE 0.018" Peripheral Guide Wire
GLAIVE

■ インターベンション 見通し

売上高 前期比

6.7%



● バルーン初の自社製品導入

- 「canPass(キャンパス)」
- 本年4月より販売開始

● ガイドワイヤー

- 末梢用製品のさらなる拡販を進める

● 貫通用カテーテルを導入

- ガイディングエクステンションカテーテル
- 「Guideliner」
- 本年3月より販売開始
- Vascular Solutions社(米)製品

■ インターベンション 見通し

● 自社製バルーンカテーテルを導入

- セミコンバルーン「canPass」
 - 本年4月より販売開始
 - 子会社SYNEXMED社にて製造
 - 従来品に比べ高い収益性を期待

【製品特長】

- 滑らかに硬度変化するシャフトにより、優れた病変通過性と操作性を発揮
 - 滑りと耐久性を持つ親水性コーティング
 - 非加熱加工による柔軟な先端チップ
-
- 既存品からの切り替えを進める



■ 自社グループ製造製品の状況

■ グループ製造製品の拡充

生産基盤の強化	自社グループ製品の上市
1999年 リサーチセンターを開設	
2000年 浮間ファクトリーを開設	
	2001年 ガイドワイヤーを発売
	2002年 EPカテーテルを発売
	2003年 ABLカテーテルを発売
2009年 JUNKEN MEDICAL社を子会社化	2009年 人工血管を発売
2010年 JUNKEN MEDICAL市原工場を開設 SYNEXMED社を子会社化	
2011年 戸田ファクトリー・リサーチセンターを開設	
2014年 小山ファクトリーを開設（10月予定）	2012年 心腔内除細動システム発売
	2014年 バルーンカテーテルを発売
	オープンステントグラフトを発売予定

■ 新工場の建設

● 「小山ファクトリー」

- 本年10月の本稼働を予定
- 中長期の生産数量の増加に対応

小山ファクトリー 概要

所在地： 栃木県小山市（小山東工業団地）

用地： 22,504.4m²（6,820坪）

建屋： 鉄骨2階建

延床面積： 約4,526m²（1,372坪）

投資額： 約16億円

生産品目： E Pカテーテル、A B Lカテーテル、ガイドワイヤー

生産工程： 検査・包装・滅菌

■ 新規連結子会社

SYNEXMED(HONG KONG)LTD.

所在地： 中国 香港

資本金： 7百万香港ドル（当社100%出資）

事業内容： 医療機器の輸入、販売

取扱品目： ガイドワイヤー、バルーンカテーテル

心宜医疗器械（深圳）有限公司(SYNEXMED(SHENZHEN)Co., LTD.)

所在地： 中国 深圳市

資本金： 10百万人民元（SNM（HK）社100%出資 当社間接保有）

事業内容： 医療機器の製造、販売（SNM（HK）社へ）

取扱品目： ガイドワイヤー、バルーンカテーテル

株式会社ハートブレーン

所在地： 東京都豊島区

資本金： 10百万円（当社90%出資）

事業内容： 医療機器の販売

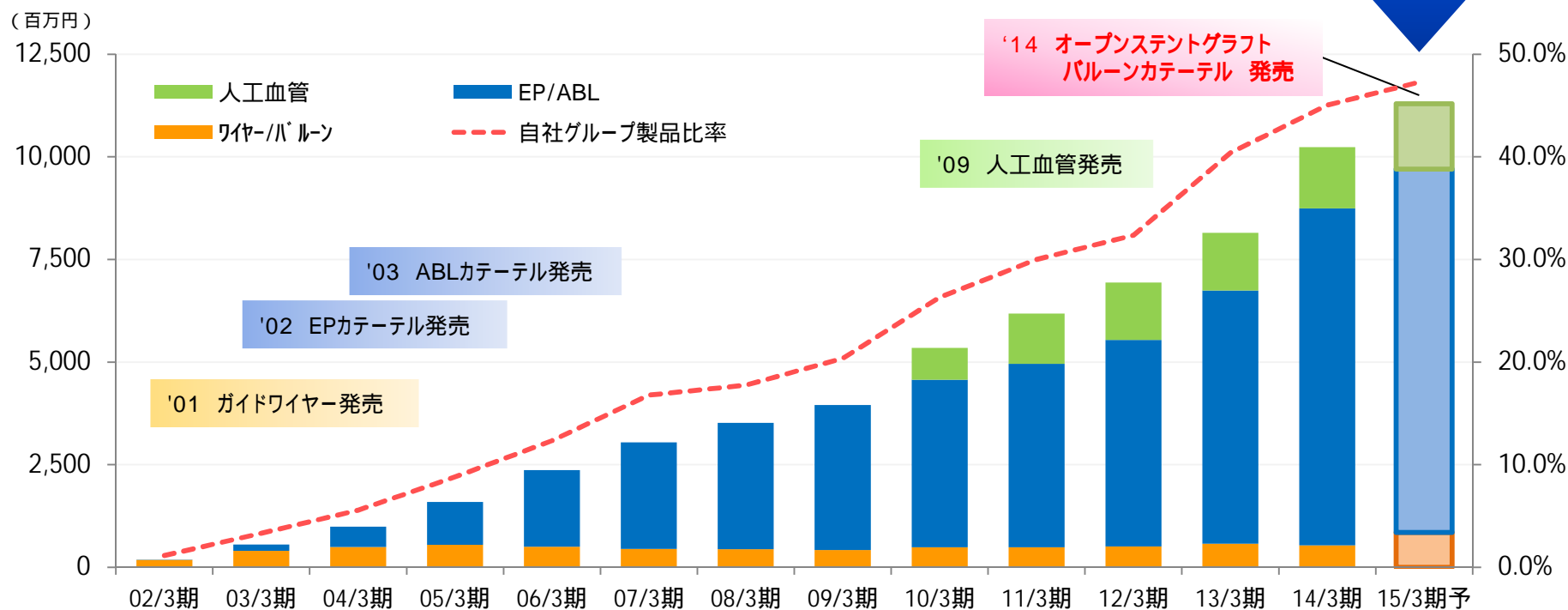
取扱品目： A E D（自動体外式除細動器）

■ 自社グループ製造製品の売上推移

業績を力強く牽引

– 15/3期 自社グループ製品()売上高予想
11,295百万円(前期比9.9%増) 売上構成比 47.4%

売上高予想
11,295百万円
売上構成比
47.4%

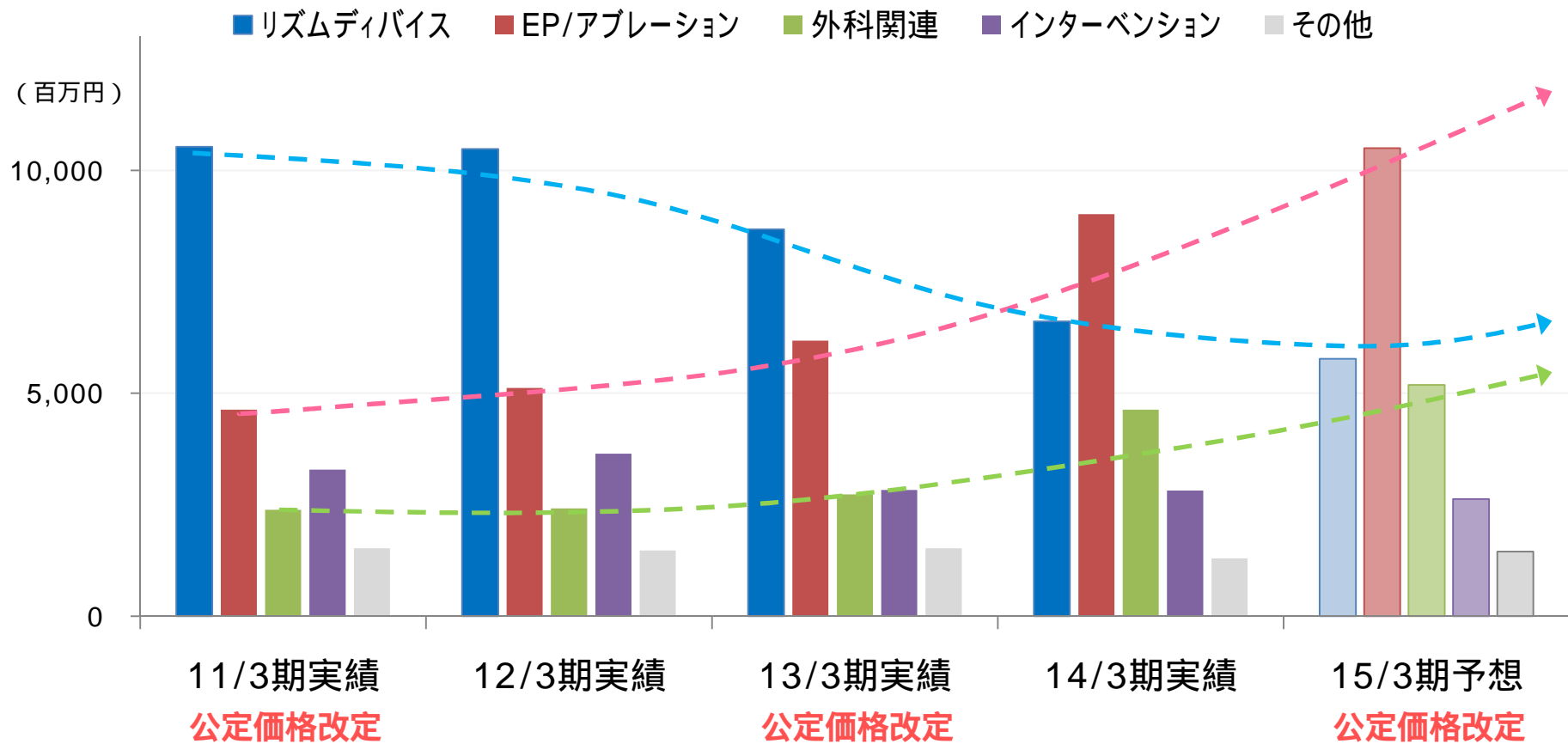


(自社グループ製品 売上高/売上比率：単体ベースにおける自社グループ製品の売上高/売上比率)

■ 中長期の見通し

■ 売上推移

リズムデバイス(輸入商品)から、
EP/A BL・外科関連(自社製品)へ、コアビジネスが移行



■ 中長期の成長に向けて

メーカー機能と商社機能の双方を強化

メーカー機能

医療現場のニーズを反映した
自社製品の開発・導入

- ・グループ生産体制の強化
- ・次期新製品の開発

商社機能

海外の最先端の
医療機器を国内へ導入

- ・優れた商品の販売権獲得
- ・早期の国内導入

**両機能を併せ持つ強みを生かし
中長期における安定成長を目指す**

■ 中長期の成長に向けて

各事業の中長期における重点課題 1

リズムデバイス

- ・SASスクリーニング機能の市場啓蒙
- ・MRI対応PM導入によるシェア回復
- ・Tachy市場におけるシェア拡大

EP/アブレーション

- ・イリゲーション機能付きABLカテーテルの導入
- ・コンタクトフォースセンサー付きABLカテーテルの開発
- ・ニューコンセプトのABLカテーテルの導入
- ・アブレーション関連機器の開発並びに海外商品の導入
- ・アジアを中心とする海外市場への参入

■ 中長期の成長に向けて

各事業の中長期における重点課題2

外科関連

- ・胸部/腹部用ステントグラフトの新商品の導入
- ・生体弁付人工血管の導入
- ・生体弁関連の商品ラインナップの強化
- ・ニューコンセプトの生体弁の導入

インターベンション

- ・自社製コロナリーバルーンの拡販
- ・心房中隔欠損閉鎖器具の導入
- ・末梢用DCB (Drug Coating Balloon) の導入
- ・PCI関連カテーテルの開発

■ 中長期の成長に向けて

各事業の中長期における重点課題3

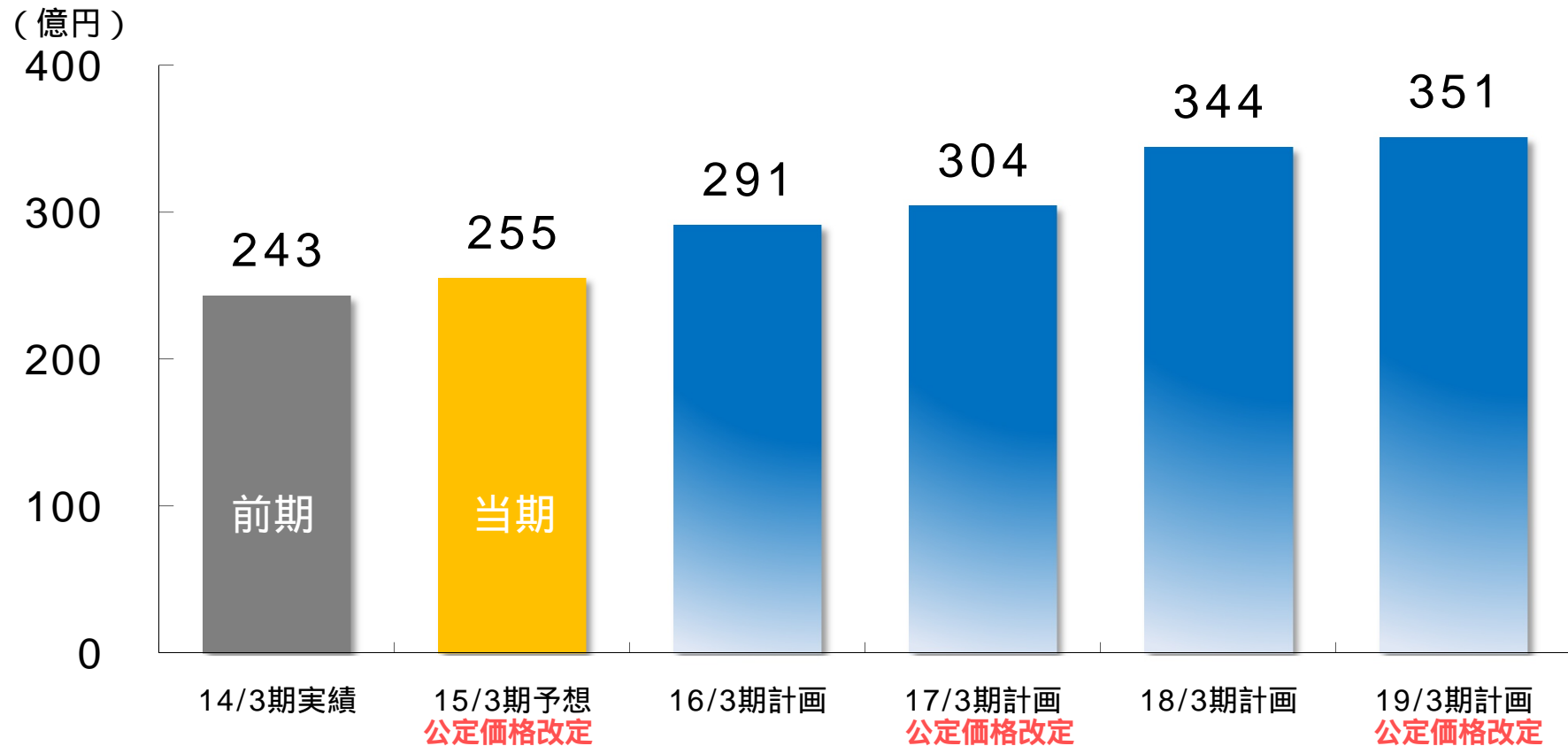
子会社関連

- ・OSGを含む人工血管の量産体制の構築
- ・血液浄化装置の新モデル開発
- ・深圳工場の生産性向上
- ・AED事業への進出
- ・各子会社製品の海外展開

■ 中期計画(連結売上高)

5年後に連結売上高351億円を計画

16/3期以降、営業利益率は10%以上を見込む



計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まず

企業理念

病める人のために最新最適な医療機器を
提供することを通じて社会貢献する

... for Patient Comfort.

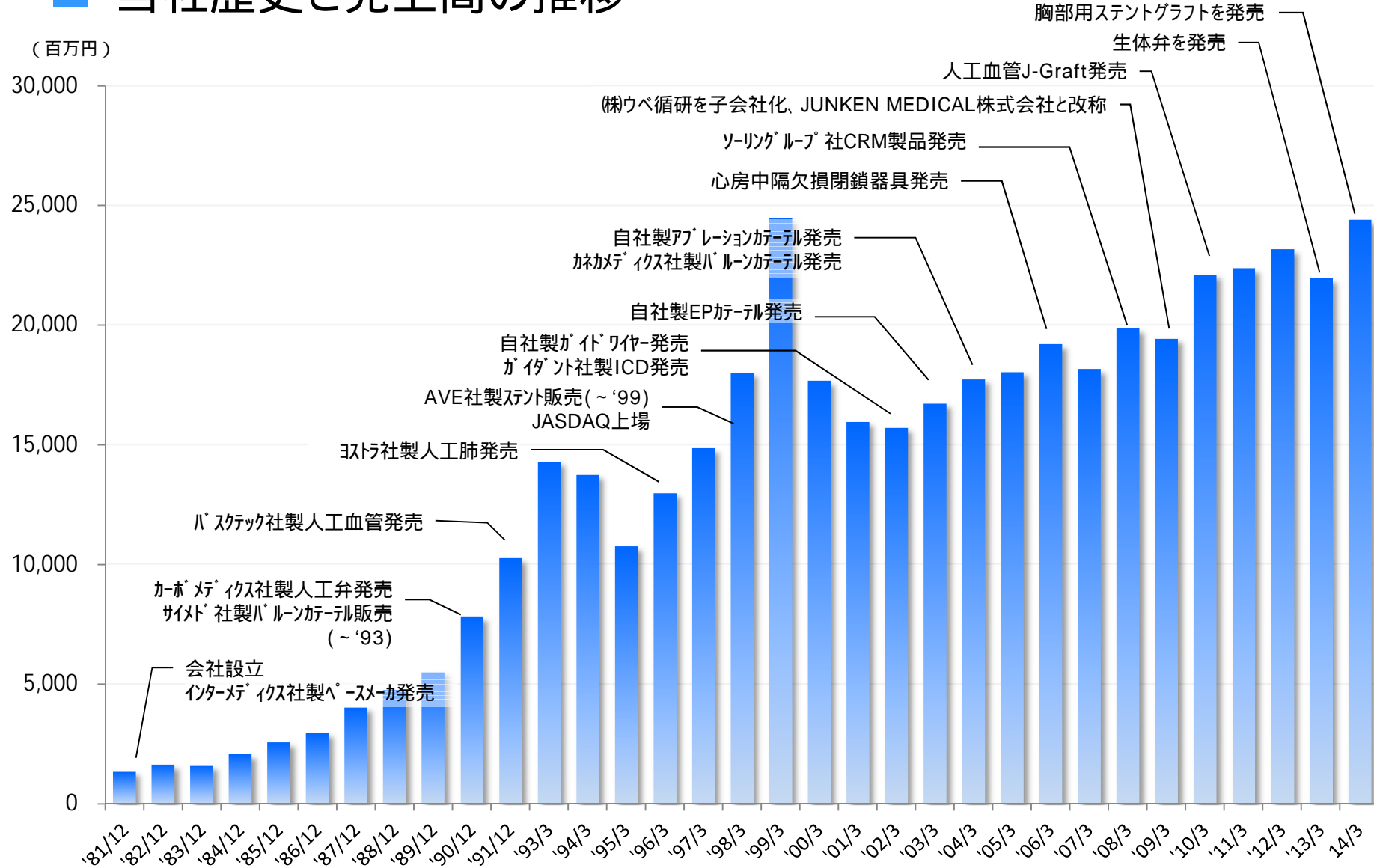
End of Presentation

会社概要

■ 会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
上場	1997年12月8日 東証JASDAQ
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結734名/単体549名 (2014年3月末現在)
事業所	営業拠点33ヶ所、羽田ロジスティクスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、天王洲ACCADEMIA (研修センター)
連結子会社	JUNKEN MEDICAL株式会社、SYNEXMED (HONG KONG) LTD.、心宜医療器械 (深圳) 有限公司、株式会社ハートブレーン

■ 当社歴史と売上高の推移



■ 事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の5つに大別されます。

EP/アブレーション

不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカー
ICD
CRT-D
イベントレコーダー

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
心腔内除細動カテーテル
アブレーションカテーテル

心臓循環器

外科関連

人工血管
ステントグラフト
人工心臓弁
人工弁輪
人工肺関連

その他

（子会社販売商品）
血液浄化関連商品

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

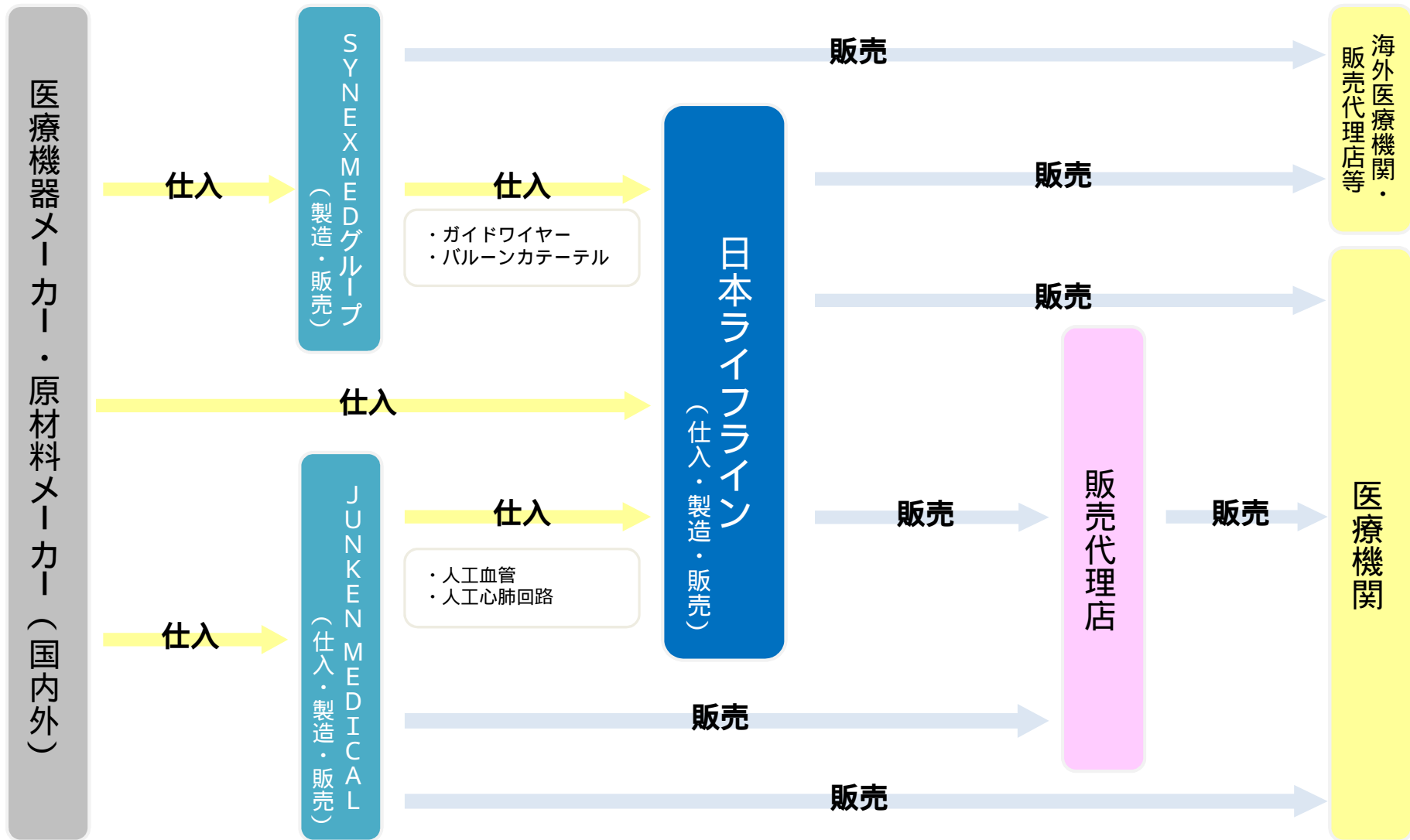
インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
血栓異物除去カテーテル

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

■ 事業の系統図



■ 商品紹介 リズムデバイス

心臓ペースメーカー

(SORIN GROUP社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

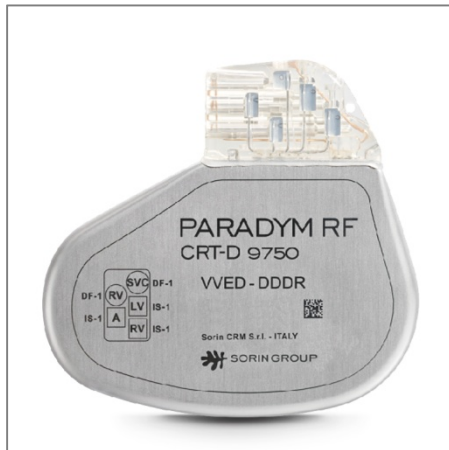
ICD（植込み型除細動器）

(SORIN GROUP社製)



CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）

(SORIN GROUP社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

長期間にわたって心電図を記録することで、短時間では出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

イベントレコーダー

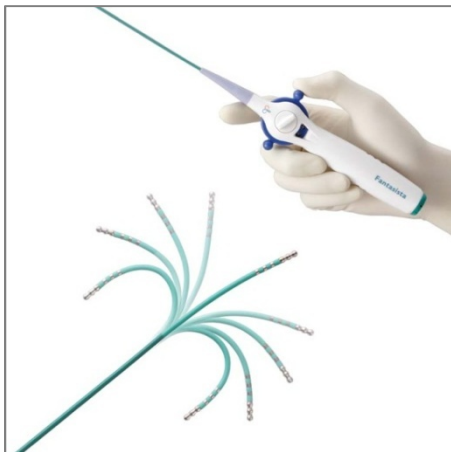
(SORIN GROUP社製)



■ 商品紹介 EP / アブレーション

アブレーションカテーテル

(自社製品)

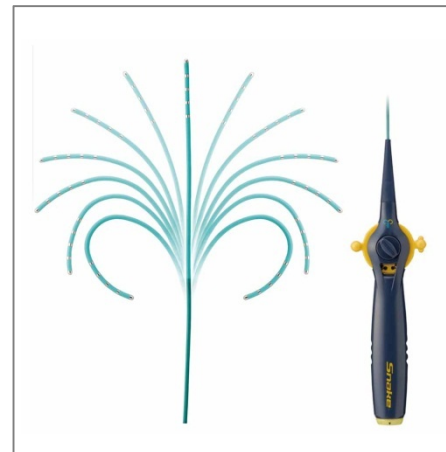


頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

EP (電気生理用) カテーテル

(自社製品)



心腔内除細動カテーテル

(自社製品)

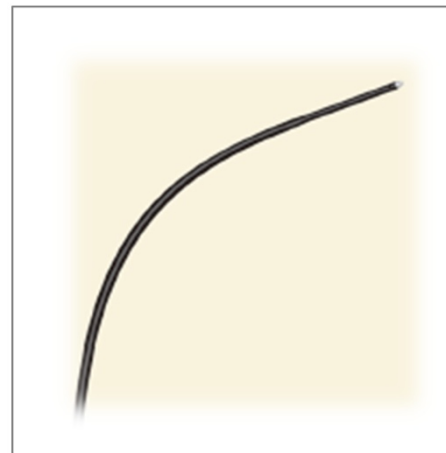


アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁(心房中隔)に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



■ 商品紹介 外科関連

人工心臓弁

(SORIN GROUP社製)

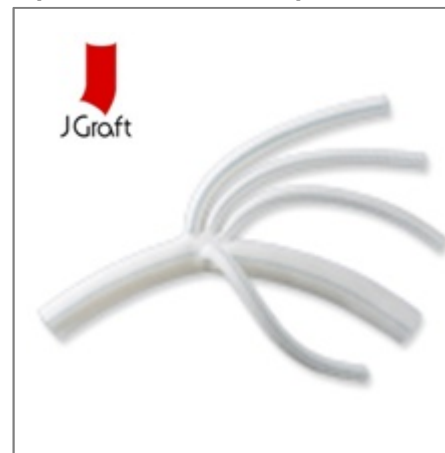


心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工血管

(JUNKEN MEDICAL社製)



人工弁輪

(SORIN GROUP社製)



心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

人工血管とは異なり、開胸手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

ステントグラフト

(BOLTON MEDICAL社製)



■ 商品紹介 インターベンション

バルーンカテーテル

(SYNEXMED社製)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まるのが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

ガイドワイヤー

(自社製品)



バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

血管内異物除去用カテーテル

(ニプロ社製)



血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営管理部

TEL: 03-6711-5214

E-Mail: ir@jll.co.jp

URL: <http://www.jll.co.jp>